

教育委員会会議録（7月定例会）

日 時

令和元年7月25日（火）
午後3時から午後3時30分まで

場 所

日立市役所 全員協議会室

出席委員

| | |
|----------|-------|
| 教育長 | 中山 俊恵 |
| 教育長職務代理者 | 中村 雅利 |
| 委 員 | 上村 由美 |
| 委 員 | 朝日 華子 |
| 委 員 | 土屋 静治 |

委員以外の出席者

| | |
|--------------------|-------|
| 教育部長 | 窪田 康德 |
| 総務課長 | 松本 正生 |
| 学校施設課長 | 石川 涉 |
| 学務課長 | 中島 修 |
| 学務課課長 | 鈴木 伸治 |
| 生涯学習課長 | 庄司 和江 |
| スポーツ振興課長 | 木下 俊雄 |
| 指導課長 | 森山 秀一 |
| 指導課課長 | 稲田 訓子 |
| 郷土博物館長 | 豊田 瑞穂 |
| 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 | 山田 美幸 |
| 教育研究所長 | 小池 洋一 |
| 北部学校給食共同調理場長 | 荒川 敏明 |
| 総務課副参事(兼)計画財務係長 | 酒地 康彦 |
| 総務課課長補佐(兼)庶務係長 | 鷲 秀哉 |
| 総務課主幹 | 吉野 成実 |
| 総務課主幹 | 芳賀 秀人 |

議 事

報 告

報告第 7 号 教育委員会 6 月定例会の会議録について

議 案

議案第 2 5 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

議案第 2 6 号 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について

その他

- (1) いいとこ発見 夢づくり推進事業「未来パスポート」について
- (2) 教育委員会関連行事等について
 - ア ひたちっ子わくわくイングリッシュについて
 - イ 第 6 2 回桐生市臨海子ども会歓迎式典について
 - ウ 第 4 9 回桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会について
 - エ 未来（あした）への道 1 0 0 0 k m 縦断リレーについて
 - オ 夏休み期間中の図書館イベントについて

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から7月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 7 号 教育委員会6月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第7号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 2 5 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。
議案第25号について、視聴覚センター所長から説明をお願いします。
ます。

視聴覚センター所長 日立市視聴覚センター運営委員会委員に欠員が生じたので、
新たに委員を委嘱するものです。

委員の任期は令和元年7月25日から、前任者の残任期間である
令和元年8月31日までとなります。

新たに委員となるのは2名です。市職員の人事異動により、中村
大介 氏、庄司 和江 氏をそれぞれ委嘱します。

教 育 長 それでは、議案第25号について、可決することよろしいで
しょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第25号については、原案可決と決しました。

議 案 第 2 6 号 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について

教 育 長 次に、議案第26号について、北部調理場長から説明をお願いします。

北部調理場長 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員は、令和元年7月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。新しい委員の任期は、令和元年8月1日から令和3年7月31日までとなります。

委員の任期満了に伴い、関係各種団体からの推薦をもとに委員として委嘱します。

日立市学校給食共同調理場運営審議会は、教育委員会の諮問に応じ、共同調理場の運営に関する事項について答申する機関です。

教 育 長 それでは、議案第26号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第26号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) いいとこ発見 夢づくり推進事業「未来パスポート」について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 日立市の学校教育の推進テーマは、「いいとこ発見夢づくり」です。

子どもたちが誰でも持っている「自分のよさ」に気付き、お互いのいいところを見い出し、認め合いながら、未来への夢を描くことができる学校教育を推進していることが本市の大きな特色です。

未来パスポートの活用を通して、自己肯定感・自己有用感の向上を図ります。

対象は、市立小中学校、特別支援学校に通学する児童生徒全員です。小学校は6年間、中学校は3年間継続して利用できる様式となっています。

児童生徒が自分の将来に想いをはせ、やりたいこと、やってみたいこと、将来の夢を書き込みます。そこに教員や保護者から、本人の良さを認めるコメントや励ましの言葉を記入します。

子どもたちが、進級後や進学後といった少し先の未来をイメージし、自分あてのメッセージとして表現することで、自分の未来をよりよく生きていこうとする心を育てます。

未来パスポートに記録を積み重ねることで、子どもたちが自分自身を振り返り、自分の成長を実感できるようにします。

この未来パスポートには、子どもたちの夢や希望、いいところや励ましの言葉が一杯詰まっています。子どもたちがこのパスポートを手にとって、振り返ることで、夢を実現するための大きな力、大きな支えになるものと考えております。

委員 この未来パスポートは、数年前から取り入れているものだと思いますが、現在の学校現場での活用状況について、お聞かせいただけますか。

指導課長 パスポートを作成した当初は、積極的に取り組んでいる学校の事例紹介など、活用のための研修会を定期的に行っていました。

現在、未来パスポートへの記入は、子どもたちの実態や学校の状況に応じて、学級活動あるいは道徳科の授業などで行っています。また、子どもたちが記入する時間を定期的に設けています。

効果的な活用について、具体例を一つ紹介します。

子ども、保護者、担任で行う三者面談がありますが、その三者面談の前に子どもたちがこのパスポートに記入をし、それに対して担任が肯定的な視点でコメントを書きます。

その後、三者面談の時に、子どもたちが頑張っていることや将来の夢・希望などの内容をもとに、子どもの考えや想いに対して、共感的に話をします。

そして、三者面談後、自宅に持ち帰って保護者の方にコメントを書いていただいています。

委員 いま具体例を紹介いただいたように、学校では有効に活用されていると思いますので、ぜひこれからも進めていただければと思います。

一つ要望になりますが、未来パスポートの活用を通して、自己肯定感・自己有用感の向上を図ることが一つの目的としてあるのであれば、自己肯定感は、学級の仲間から自分のいいところを指摘して

もらうこととか、他の先生、親などから、「あなたのいいところはこんなところだよ」と認めてもらったことが、肯定感につながるのかなという気がしています。

このパスポートがそのような趣旨で作られるとするならば、学級活動などで、友達にお互いのいいところを付箋などに書いてもらい、パスポートの空いている部分に貼ってもらうなどの活用の仕方もあるのではと思います。

また、もし改訂版を作るのであれば、お互いのいいところを認め合うことが表現できるページを作ってもらえればと思いました。

いまの構成は「未来」の部分が多い印象があるので、自己肯定感の向上を図るのであれば、そういう工夫があってもいいのではと思います。

指 導 課 長 委員御指摘のとおり、自己肯定感・自己有用感の向上には、身の回りの多くの人から認めてもらうことが重要です。

まずは、今回見栄えを変えるなどで新しくしたこのパスポートの活用の充実を図り、学校現場の声も聴きながら、他の児童生徒からのコメントをもらう欄を設定するなど見直しを行いながら、ねらいを達成できるようより良いものにしていきたいと考えております。

教 育 長 作成している中で改めて気付いたのですが、小学生用の1、2年生は2ページあるのですが、小学生用の3年生以上と、中学生用は各学年1ページずつになっています。委員がおっしゃった新たな欄のことも考えると、これらの学年も2ページ分が必要になるのではないかと思います。

また、先日担当者にも話したのですが、使い方の説明欄で、小学生用では、「学年の途中で、考えが変わっても消さないで、新しく書きましょう。」と記載があるのに対し、中学生用では「学年の途中で書きたいことが変わったら、それまでに書いたものに新しく書き加えましょう。」と記載があります。

小学生用も中学生用の記載のように、「新しく書き加えましょう」とした方がプラス思考かなと思いました。

次の作成の際にはこの点も検討してみてください。

(2) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは次に、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア ひたちっ子わくわくイングリッシュについて

生涯学習課長 ひたちっ子わくわくイングリッシュは、小学生の土曜日や長期休業期間中の教育活動の充実を目的として、外国人講師と一緒に歌やゲームを通じて、英語に親しむ、さらには、英語を聞く・話す・書く・読むについて、楽しく学べるような体験プログラムを実施しています。

実施内容は、小学1年生から小学4年生を対象とした初級コース、小学5・6年生を対象とした中級コースに分かれ、各コース3日ずつ、市内4か所の会場で実施しております。

応募状況は、募集が終了したいずれのコースも定員を超える応募があり、初級第3コースでは、倍率が3倍を超える状況となっていることから、初級コースを急きょ1コース増設して対応したところ です。

イ 第62回桐生市臨海子ども会歓迎式典について

生涯学習課長 第62回桐生市臨海子ども会は7月26日から30日までの5日間、2団編成で河原子民宿、旅館に宿泊します。

海水浴を楽しむ他、歓迎式典、キャンプファイヤー、地引網などを通じて、日立市の子どもたちとの交流事業を実施します。

歓迎式典は、明日7月26日(金)、午前11時10分から市庁舎大屋根広場で行います。

昨年までは河原子小学校体育館で開催しておりましたが、交通手段が貸切列車から貸切バスに変更となったこと、市庁舎がグランドオープンしたことから大屋根広場で開催することとしました。

なお、桐生市の子どもたちには、記念品として、ひたち大好き博士のマスコットキャラクターを使った記念缶バッジを贈呈します。

この記念缶バッジと一緒に、日立の海での楽しい思い出を持ち帰っていただけたらと思います。

ウ 第49回桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会について

生涯学習課長 この研修会は、国内親善都市である桐生市の子ども会と親善を図り、交流を深めるため、昭和45年から開催されています。

今年は、8月3日から4日までの1泊2日の日程で、小学5・6年生の子ども会リーダー、子ども会育成連合会役員等の総勢34人で桐生市を訪問します。

歓迎式典や桐生八木節まつり参加等によって、桐生市子ども会との交流を図り、藍染体験など親善都市・桐生の歴史・文化に触れる

機会としています。

エ 未来(あした)への道1000km縦断リレーについて

スポーツ振興課長 この事業は、平成25年に第1回目が行われ、今回で7回目の実施となります。

事業目的は、青森から東京まで、東日本大震災の被災地をランニングと自転車をつなぐリレーをし、東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、全国から集まる参加者と被災地の方々の絆を深めるというものです。

開催期間は、7月24日(水)から8月7日(水)までの全15日間で行われ、そのうち日立市を通過するのは、12日目の8月4日(日)を予定しております。

主催は、東京都と(公財)東京都スポーツ文化事業団で、コース沿道の79市町村の協力により実施いたします。

実施概要は、青森県から東京都までの全長1,322.6キロメートルをランニングと自転車により、約1,400人の参加者が走り抜けます。内訳は、ランナーが約1,300人、サイクリストが約100人と伺っております。

市報等でもお知らせしておりますが、今回の通過予定日は土曜日となりますので、ぜひ中継地点となる日立市役所にお越しいただければと思います。

また、日立市を通過する8月4日には、元新体操選手で、北京オリンピック、ロンドンオリンピックに出場した田中 琴乃 さんがゲストランナーとして参加する予定です。

具体的なルートは、日立市役所の大屋根広場を出発した後、国道6号を南下し、青葉台団地入口の所から、市民運動公園方面へ向かひまして、池の川さくらアリーナまでの約4キロメートルをランニングすることとなっています。

オ 夏休み期間中の図書館イベントについて

記念図書館長 図書館4館では、夏休み期間中たくさんのお子どもたちに図書館を利用していただくよう、様々な企画をしています。その中から主なイベントについて紹介いたします。

まず、「としょかんポイント大作戦！」です。

夏休みにたくさんのお子どもたちに図書館を利用してもらうため、7月1日から9月1日まで、3歳から中学生までを対象に、「図書館でスタンプを集めよう！としょかんポイント大作戦！」を実施しております。記念、多賀、十王、南部の各図書館を利用するごとに

1日に1個、図書館利用ポイントカードにスタンプを押し、6ポイントで記念品をお渡しするものです。

次に、「小枝でつくるカブトムシ工作」です。

7月27日に南部図書館創作室で、小学3年生から6年生までを対象に実施します。

材料は、赤羽緑地を守る会に御協力いただき、緑地の桜の小枝を使ったカブトムシを作ります。とてもリアルなカブトムシを作ることができるので、子どもたちには大変人気の企画となっています。

次に、「としょかんでボードゲームを楽しもう！」です。

知的コミュニケーションゲームとして注目されているボードゲームを、7月28日に南部図書館で開催します。日立ボードゲーム少年団に遊びを教えていただきながら、国内外30種類以上のボードゲームを楽しむ企画で、どなたでも参加可能です。

次に、「夏休み移動図書館車児童クラブ巡回」についてです。

今年度から子ども読書活動推進事業の一環として、夏休み期間中に公設児童クラブを6日間、移動図書館車が巡回します。夏休みに児童クラブを巡回することで、一人でも多くの子が読書の楽しさを知り、本好きになってもらえればと考えております。

次に「戦争と平和を考える催し」です。

今年は戦後74年となりますが、夏休みに多くの子どもたちが訪れる図書館で、戦争と平和を考える催しに触れ、戦争の悲惨さ、命の大切さ、平和の大切さについて考える機会とするため、企画したものです。

「戦争と平和を考える子どもの本展」は、8月1日から8月15日まで、記念、多賀、十王、南部の4館で同時に開催します。ふるさと日立の戦災に関するものを含め、戦争と平和をテーマとした本の展示と貸出、戦争と平和を考える本のリストを配布します。この他、記念図書館と多賀図書館では、日立の戦時中の写真パネル展示も行います。また、記念図書館では、市文化・国際課主催の平和展と共催し、小学生を対象に戦争と平和に関するクイズラリーも行います。

「戦争と平和を考えるおはなし会」は、8月6日に視聴覚センター映像セミナー室で幼児から小学生を対象に開催します。戦争と平和をテーマとした絵本の読み聞かせを約15分行った後に、戦争体験のおはなしとして、百年塾市民教授の塚本 裕宥 さんに「わたしの戦争体験」をテーマにお話をさせていただきます。

次に「なつやすみおはなし会」です。

8月2日に多賀図書館おはなし広場ふわふわで幼児から小学生を対象に開催します。大型絵本の読み聞かせと、日立市や水戸市の保育園や幼稚園を中心に上演活動をしております「ひたち人形劇団パッペ」によるミニ人形劇場と紙工作を行います。

次に「子どもと楽しむ折り紙教室です。

8月7日に記念図書館で小学生と保護者を対象に開催します。夏を感じる折り紙と記念図書館キャラクターのキトちゃんにちなみましてミミズクを作り、作ったミミズクは図書館壁面にディスプレイとして飾ります。

次に「常陸みんなの会 昔語り」です。

8月9日に南部図書館で小学生を対象に開催します。手作りの布絵を用いてお話をさせていただきます。常陸みんなの会は国営ひたち海浜公園の中の古民家を中心に活動しており、今回は2回目の開催となります。

次に「郷土の講座 本で日立を知ろう ～夏休みふるさと発見！～」です。

8月20日に午前の部は子ども向け、午後の部は大人向けとして2回に分けて開催します。子どもたちに郷土日立に関する本からふるさとの歴史や文化、自分のまちの魅力を学んでもらい、自由研究のヒントや日立のまちの再発見をする機会のため企画したものです。

次に「子ども読書活動推進事業 小・中学生ミニ・ビブリオバトル大会」です。今回は2回目の開催となります。

8月24日に多賀図書館で小学5年生から中学生を対象に開催します。今回は保護者も参加していただけるよう土曜日の開催としました。多くの子どもたちに参加していただけるよう各図書館でのチラシ配布や小・中学校への開催案内、市報掲載などで現在募集を行っているところです。

最後に「本でひみつ探検」です。

シビックセンターでは、9月1日までの期間、「夏のひみつ基地～シビックを遊びつくせ！！～」をテーマに様々なイベントを開催しています。記念図書館もこのイベントに合わせ、図書館内にテントを張り、ひみつ基地を作りまして、動物や植物、乗り物、自然など「ひみつの本」を展示し、貸出しをしております。

以上、たくさんの事業を図書館4館で開催し、多くの子どもたちに図書館を利用していただきたいと思いますと考えております。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和元年8月29日（木）午後3時から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会 7 月定例会を終了します。

以 上